

経済産業分野におけるトランジション・ファイナンス 推進のためのロードマップ策定検討会 (ロードマップ検討会)

2022年12月

経済産業省 産業技術環境局 環境経済室

1. 概要

(1) 背景・目的

- 着実な脱炭素化と経済成長の両立を目指し、これまでトランジション・ファイナンスの促進のための環境整備の1つとして、経済産業省は環境省、金融庁と共同して2021年5月に「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」を策定。
- また、具体的なトランジションの取組・戦略は分野ごとに異なるため、多排出産業の7分野（鉄鋼、化学、電力、ガス、石油、紙パルプ、セメント）において、トランジション戦略の策定やその適格性の判断に資する技術ロードマップを策定したところ。
- 今般、さらに日本全体の排出量に対する分野別技術ロードマップの網羅性を高めるため、対象分野を拡充する。加えてGFANZ等の金融連合が発足する中、投資家・金融機関が投資の適切性に関して判断するための参照材料に対する要求水準も高まっていることから、既存ロードマップの排出経路イメージについて研究機関による定量化を検討する。

2. 検討会の運営

- 議事要旨・配付資料は原則公開する。ただし、座長が特に必要と認めるときは、配布資料及び議事要旨の全部又は一部を非公開とすることができる。
- 議論の内容には、個社や非公開の情報が含まれる可能性があり、また参加者の自由な議論を担保する観点から、一般からの会議の傍聴は行わない。
- 各分野を実務的・専門的に議論するために、通常の委員に加え、専門委員及びオブザーバーを招聘できる。
- 本検討会で議決を取る場合、委員の過半数の出席を以て成立とし、出席委員の過半数で決する。可否同数の場合は、座長の決するところによるものとする。
- 委員は本検討会で知りえた非公開情報は、本検討会以外で利用してはならない。

3. スケジュール

- 本年度12月以降、2～3回程度開催し、自動車のロードマップ策定等を実施。